

社会資本総合整備計画

賑わいのある、安全安心な中心市街地のまちづくり(防災・安全)

平成 27 年 12 月 28 日

岡山県玉野市

社会資本総合整備計画

平成27年12月28日

計画の名称	賑わいのある、安全安心な中心市街地のまちづくり（防災・安全）			
計画の期間	平成27年度～平成28年度	交付団体	玉野市	
計画の目標				

玉野市の中心市街地は、商店街の空洞化等により人の流れが変化し、定住人口の減少と高齢化が進んでいる。また、本市随一の大型商業施設においても、地域の環境変化等により、商機能の低下が著しい状況にあることから、中心市街地の再生が急務となっている。一方、中心市街地は瀬戸内海に面しており、これまでに台風による甚大な高潮被害を受けた経緯がある。また、全国的に大規模地震の発生が懸念される中、本市は大規模地震対策特別措置法に基づく南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されており、中心市街地における地震災害のリスクも高まっていることから、賑わいを生み出すことに加え、安全安心なまちづくりを目指すものである。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・ 中心市街地における指定避難所の想定収容人数を193人（H26年度）から382人に拡大させることで、人口カバー率を11.8%（H26年度）から市全体の水準23.6%（H26年度）と同等程度に引き上げ、地域住民の避難を喚起する。
- ・ 中心市街地の住民が新耐震基準を満たした指定避難所へ避難する際の最長到達時間を12分から7分に短縮する。
- ・ 歩行者・自転車通行量を1,296人（H26年度）から1,360人に増加させ、賑わいを生み出す。
- ・ 暮らし・にぎわい再生事業実施地区に立地する商業施設の空きテナント面積率を30.9%（H26年度）から10.0%に減少させ、賑わいを生み出す。

定量的指標の定義及び算定式

アウトカム指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値	中間目標値	最終目標値	

中心市街地における指定避難所想定収容人数の人口カバー率（市域全体の率（23.6%）程度まで改善させる。）	11.8%		23.3%	
地域住民の新耐震基準を満たした指定避難所への最長到達時間	12分		7分	
歩行者・自転車通行量（休日）	1,296人		1,360人	
商業施設（天満屋ハピータウン・メルカ）の空きテナント面積率	30.9%		10.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	561 百万円	A	561 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 A(提案分)+C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	---------	---	---------	---	-------	---	-------	----------------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
A-1	暮らしにぎ	一般	玉野市	直接	玉野市	玉野市宇野地区暮らし・にぎわい再生事業	空きビル再生 1.5ha	玉野市						561	別添
合計													561		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H	H	H	H	H		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

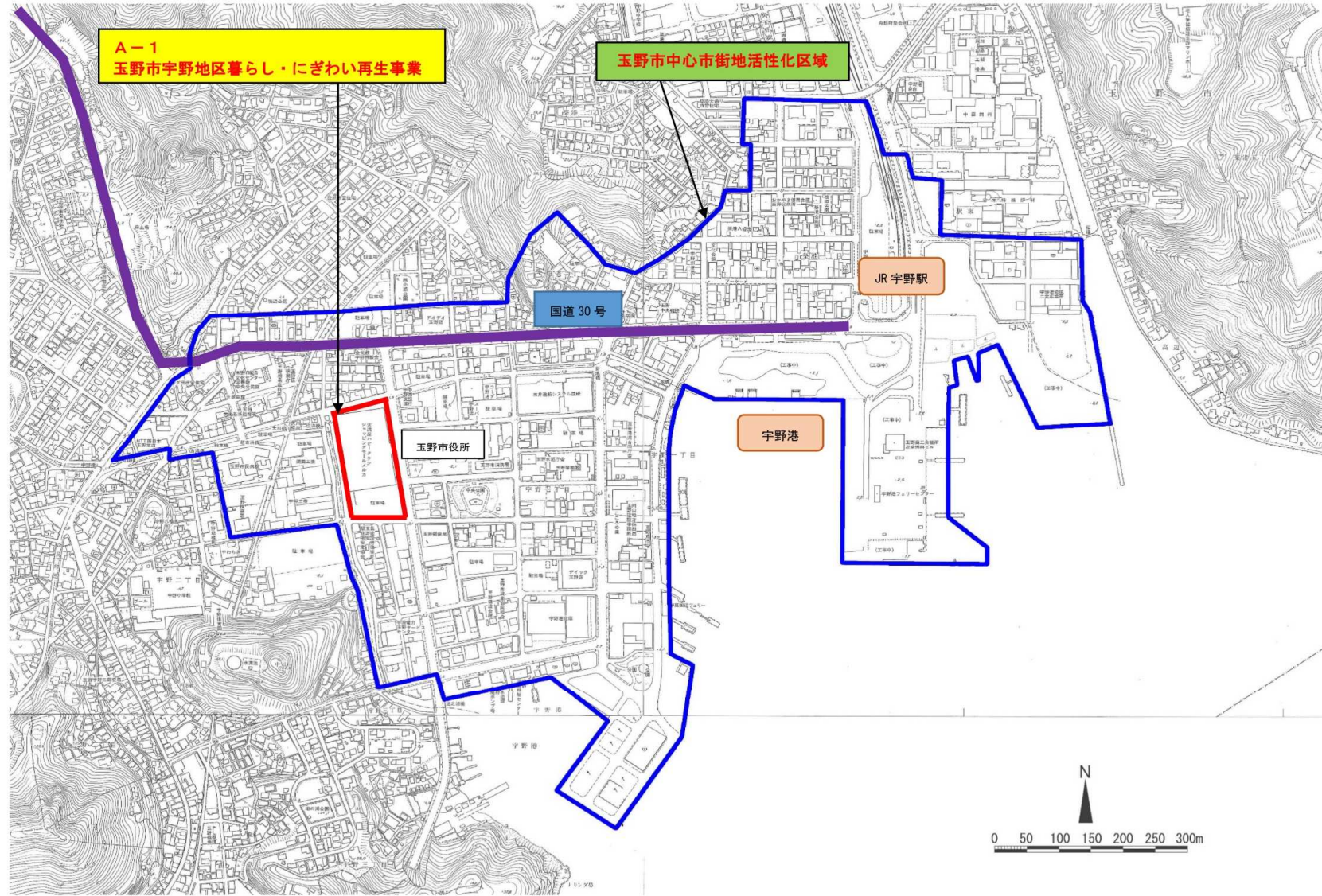
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28			
配分額 (a)	186	0			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	186	0			
前年度からの繰越額 (d)	0	186			
支払済額 (e)	0	135			
翌年度繰越額 (f)	186	0			
うち未契約繰越額 (g)	186	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	51			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	100.0%	27.4%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	内部協議に時間を要し、完了予定期日を変更	整備工事について、競争入札による落札金額が設計金額から大きく減少したため			

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	賑わいのある、安全安心な中心市街地のまちづくり（防災・安全）	交付団体	玉野市
計画の期間	平成27年度～平成28年度		



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 賑わいのある、安全安心な中心市街地のまちづくり 事業主体名: 玉野市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①中心市街地活性化基本計画との適合等	
1)計画の目標や指標が中心市街地活性化基本計画と適合している。	○
2)上位計画(玉野市総合計画・玉野市都市計画マスタープラン)と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)中心市街地の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)防災・安全の観点からも妥当な目標と指標・数値目標となっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が期待できる。	○
2)民間事業との相乗効果や地域全体への波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○